

アジア環境変異原学会第6回大会及び 日本環境変異原学会48回大会合同大会のご案内

アジア環境変異原学会（ACEM）第6回大会及び日本環境変異原学会（JEMS）第48回大会合同大会を、東京都千代田区の一橋大学一橋講堂において2019年11月18日（月）から20日（水）の3日間にわたり開催いたします。

本合同大会のテーマは、「アジアから始まる環境変異原ゲノム研究へのイノベーション」としました。多くの人口を抱え、先進国、発展途上国が混在するアジア諸国は無限の発展の可能性を有しています。本大会では、環境汚染物質、産業廃棄物、食物汚染物質、労働者暴露などの健康問題から、アジアの医薬品産業、化学産業、食品産業と、それらを支える基礎研究までも網羅します。これら研究分野で互いに交流し、理解し、協力することにより、アジア抱える深刻な諸問題を解決することを目指します。世界は今、アジアに注目しています。本学会を通じて、アジア発の新たな研究分野、研究体制が生まれることを期待して合同大会を開催します。

アジア諸国だけでなく、欧米からもそれぞれの分野のエキスパートを招聘し、産官学いずれの研究者にも興味を持っていただけるプログラム内容を企画しております。詳しくは大会ホームページ（<http://www.acem-jems2019.jp/>）で順次紹介致します。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第6回アジア環境変異原学会
日本環境変異原学会第48回大会
大会会長 本間 正充
(AAEMS/JEMS 会長、国立衛研)

大会概要

1. 名称：アジア環境変異原学会第6回大会及び日本環境変異原学会48回大会合同大会
2. 会期：2019年11月18日（月）～20日（水）
3. 会場：一橋大学一橋講堂
4. 参加申込：以下の大会HPよりお申込み下さい
大会HP：<http://www.acem-jems2019.jp/>
5. 構成
 - シンポジウム1：「アジアにおける大気汚染物質の曝露と健康リスク」（仮）
 - シンポジウム2：「アリストロキア酸などの植物由来変異原による遺伝子傷害と発がん」（仮）
 - シンポジウム3：「アジアの環境変異原研究では何が今問題となっているのか？」（仮）
 - シンポジウム4：「低線量・低線量率放射線被ばくのリスク評価－福島とアジア諸国の現在－」（仮）
 - シンポジウム5：「ゲノミクスとアダクトミクスによるアプローチでアジアのがんを解明する」（仮）
 - シンポジウム6：「ゲノム変異の分子メカニズム」（仮）
 - ワークショップ：「ICH-M7 関連ワークショップ－QSARによる遺伝毒性の予測－」（仮）
 - 特別企画：環境変異原学会の歩むべき道を考える（仮）
 - 基調講演：「QSAR is an essential tool of integrative assessment strategies」（仮）
Dr. Romualdo Benigni (Alpha-Pretox)
 - 一般演題：ポスター発表、一部について口頭発表
6. 大会事務局
 - 総務担当：三島 雅之
 - 中外製薬株式会社 富士御殿場研究所内
 - 〒412-8513 静岡県御殿場市駒門1番地135
 - TEL：0550-87-8768 FAX：0550-87-1960
 - E-mail：secretariat@acem-jems2019.jp
mishimamsy@chugai-pharm.co.jp

財務担当：濱田 修一

株式会社L S I メディエンス 試験研究センター 鹿島研究所内

〒314-0255 茨城県神栖市砂山 14 番地 1

TEL：0479-46-2871

E-mail：secretariat@acem-jems2019.jp

Hamada.Shuuichi@mh.medience.co.jp

7. 運営事務局

担当：長谷川 美貴、岩渕 あやか

株式会社仙台共同印刷

〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町 2 丁目 4 番 2 号

TEL：022-236-7161 FAX：022-236-7163

E-mail：acem-jems2019@senkyo.co.jp